

松下国際財団 研究助成 研究報告

【氏名】 東條 哲郎

【所属】(助成決定時)東京大学人文社会系研究科

【研究題目】 19 世紀末から 20 世紀初頭マレー半島の「近代化」と華人錫鉱業

【研究の目的】

本研究の目的は、19 世紀末から 20 世紀初頭の錫鉱業の発展と華人移民により、マレー半島地域がどのような社会経済的な変化をしていったのかを分析することである。19 世紀後半に国際商品となったマレー半島の錫は、華人の経営する企業が、華人移民労働者を雇い、労働集約的に採掘されてきた。そして、錫の利権をめぐる内戦に介入する形で、1870 年代イギリスはこの地を植民地化した。植民地化と、錫・ゴムの一次産品輸出経済の確立は、労働者や商人としての中国・インドからの大量の移民の流入を招き、マレー半島では多民族社会が形成され、現在においても多数派のマレー人と移民である華人、インド人との共生は、マレーシアにおける重要な課題である。また、植民地経済体制と多民族社会の形成は、東南アジア地域に共通する問題でもある。本研究を通じ、近代以降、典型的な多民族社会としての歴史を歩んできたマレーシアにおける、より基層的な民族間の交流や対立、融和や相互依存関係を実証的に描くことができると期待できる。

【研究の内容・方法】

申請者は、採掘を実際に行っていた人々の民族構成や個々の鉱床経営者の活動について把握するため、第一に、マレー半島で最も錫採掘が盛んであったペラ州キンタラの鉱業台帳をもとに、表計算ソフトを用いて、個人(企業)・地域レベルにおける採掘権保有者、採掘規模、採掘労働者数及び生産量をまとめ直した。

ペラ州キンタラにおける錫開発がキンタラ川支流の中心域から徐々に遠隔地へと広がっていったことが証明された。1880 年代の錫価格上昇に伴う「錫ラッシュ」とも言える状態で採掘が始まった地域においては、これまで錫採掘にはほとんど従事してこなかったとされるマレー人の住民も採掘権保有者として、鉱床経営者とともに錫採掘に関わってきたことが判明した。一方、採掘の中心を担う華人に関しては、初期においては中・小規模での採掘が中心であったが、1890 年代後半以降、余東旋を代表とする大規模な鉱床経営を行う華人が徐々に出現してきた。他方、1890 年代以降に開発された地域では初期より華人がその中心を担っており、初期鉱床経営にて成功した華人の進出が目立った。イギリスを中心とする企業による採掘は、1890 年代までほとんど行われてこなかったものの、1900 年代半ば以降、南西部ブランジャラ区におけるトロノー採掘会社が大規模な採掘を開始するなど、本格的な進出を開始した。

第二に、特定地域における錫鉱業の展開を分析するため、キンタラ土地局の作成した1911年の土地区画図に1895年から1910年までの採掘権の広がりや採掘権保有者を、地図等作成用ソフト(イラストレーター)を使用して記入していった。さらに、マレーシア地図局の作成した最新版の1/25,000地形図に1910年の採掘状況を重ねることで、19世紀後半から20世紀初頭にかけての鉱床開発がその後の土地利用にどのような影響を与えたのかを分析した。その結果、1910年までに錫鉱床として開発された地域がその後も錫採掘地域として残り、開発されなかった地域がその後のゴム・アブラヤシ栽培に利用されたり森林保護区となったことがわかった。

上記の数値、地図上のデータを補足するため、ペラ遺跡会 Perak Heritage Society の協力を得て、ペラ州内にあるかつての鉱山町や輸出港、鉱山関係インフラ設備の跡などへの現地調査を実施するとともに、かつての採掘関係者の子孫に対し、聞き取り調査を行った。

【結論・考察】

以上のことから、キンタ県における錫開発には、マレー人や華人、ヨーロッパ人など、多様な民族の関わっていたことが判明した。採掘では、マレー人採掘権保有者から華人鉱床経営者に採掘権が又貸しされ華人労働者を雇用した採掘が行われ、その利益を採掘権保有者と華人鉱床経営者、労働者との間で分け合うなど、内陸部においては各民族がばらばらに経済活動していたのではなく、様々な形で協力していた。その中で、意思疎通など様々な問題が生じたと考えられ、キンタ土地局にはそのような問題が発生した事実があるものの、いずれも大きな問題とはなっておらず、植民地当局のもと地域内部で解決されていった。

更にはこの時期の錫開発がその後の地域形成や経済開発に大きな影響を与えたことが判明した。錫開発地域は、農園開発をすることができないため、錫開発が終わった後、一部は養魚池などとして利用されているが、多くの土地は放棄されている。錫鉱業に関わってきた人々が、錫採掘の後、どのような経済活動を行い、地域と関わってきたのかについては、今後の研究課題としたい。